

令和元年度柏市立柏病院新改革プラン 《自己評価》



公益財団法人 柏市医療公社

①地域医療構想を踏まえた役割の明確化

病床利用率等について（入院・外来別，病棟別数値）

指標	H29年度 実績値	H30年度 計画値①	H30年度 実績値②	増減 (②-①)
延外来患者数（人）	145,360	142,500	151,278	8,778
延入院患者数（人）	56,299	58,400	57,126	▲1,274
病床利用率（%）	77.1	80.0	78.3	▲1.7
（1,2,4F 急性期病棟）	80.0	（80.0）	80.1	（0.1）
（3F 地域包括ケア病棟）	68.7	（80.0）	72.9	（▲7.1）
平均在院日数（日）	16.2	15.8	15.7	▲0.1
（1,2,4F 急性期病棟）	14.9	—	14.4	—
（3F 地域包括ケア病棟）	23.8	—	22.7	—

■ 外来患者数は目標値達成

■ 入院患者数（病床利用率）は，地域包括ケア病棟が未達成

①地域医療構想を踏まえた役割の明確化

病床利用率等について（診療科目別入院患者数）

診療科		H30年度		H29年度		増減	
		1日平均(人)	利用割合(%)	1日平均(人)	利用割合(%)	1日平均(人)	増減率(%)
内科	内分泌・代謝内科	9.3	6.0	11.1	7.2	▲1.8	▲15.8
	神経内科	16.2	10.4	17.5	11.3	▲1.3	▲7.1
	呼吸器内科	26.0	16.6	23.0	14.9	3.0	13.1
	消化器内科	34.5	22.0	28.5	18.5	6.0	21.1
	循環器内科	15.5	9.9	19.1	12.4	▲3.6	▲19.1
外科		11.5	7.3	15.8	10.3	▲4.3	▲27.3
整形外科		42.3	27.0	38.1	24.7	4.2	10.9
眼科		1.2	0.8	1.1	0.7	0.1	5.0
合計		156.5	100.0	154.2	100.0	2.3	1.5

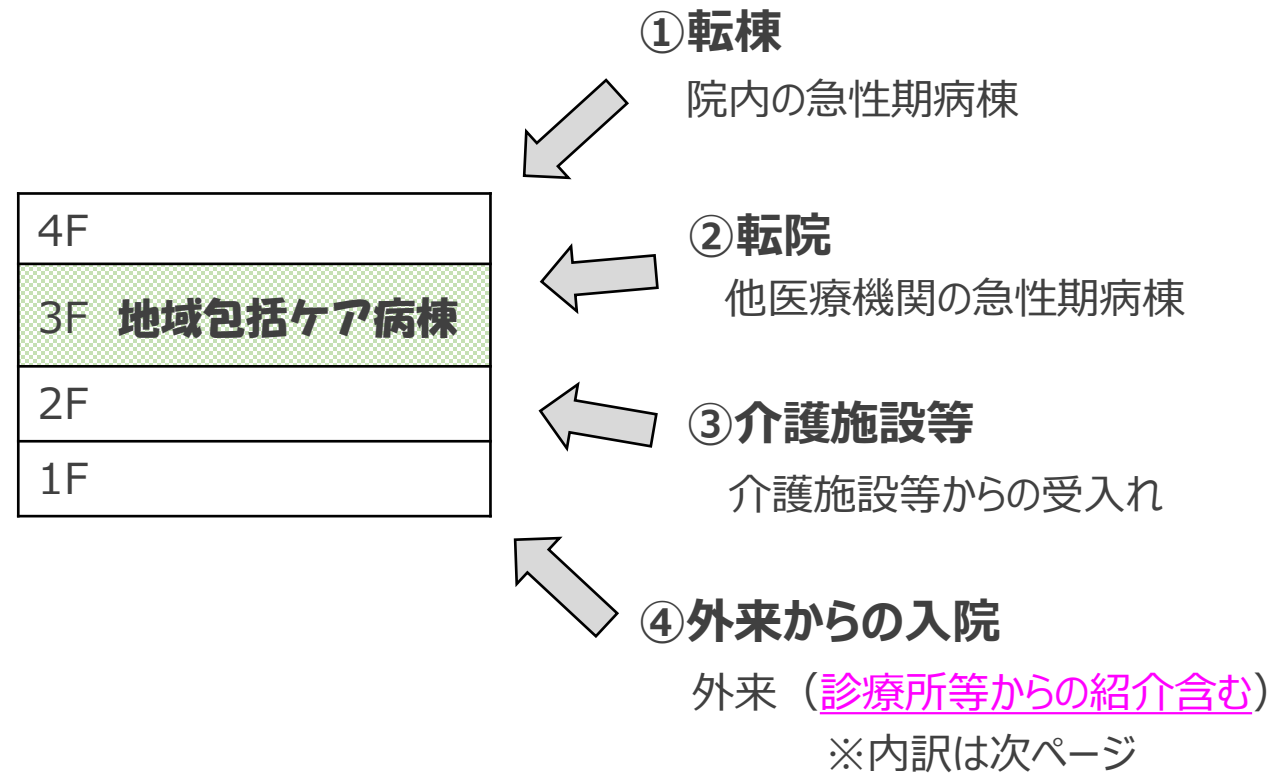
※腎臓内科・泌尿器科は入院実績なし、小児科は1日平均にすると0人のため、掲載なし

■「消化器内科」「呼吸器内科」「整形外科」が増加、「外科」「循環器内科」が減少

①地域医療構想を踏まえた役割の明確化

病床利用率等について（地域包括ケア病棟への入棟経路）

(単位：人)



経路	H30年度	H29年度	増減	増減率
① 転棟	401	404	▲3	▲0.7%
② 転院	33	7	26	371.4%
③ 介護施設等	13	6	7	116.7%
④ 外来からの入院	377	344	33	9.6%
合計	824	761	63	8.3%

- 他施設からの受入れ（②及び③）が前年度より増加しているものの、まだ少ない
- 一方、急性期病棟の利用率を考慮すると、院内の転棟（①）がスムーズであれば、急性期病棟に近い利用率が望める ⇒ 受入れ体制・ベッドコントロールに課題

①地域医療構想を踏まえた役割の明確化

病床利用率等について（診療所等からの紹介件数）

＜条件＞ 診療所等から、紹介状を持参して
地域包括ケア病棟に入院した患者

4F
3F 地域包括ケア病棟
2F
1F



(単位：人)

紹介元	H30年度	H29年度	増減
在宅支援診療所	19	8	11
診療所	35	28	7
病院・施設	36	17	19
合計	90	53	37

＜H30年度の取組み内容＞

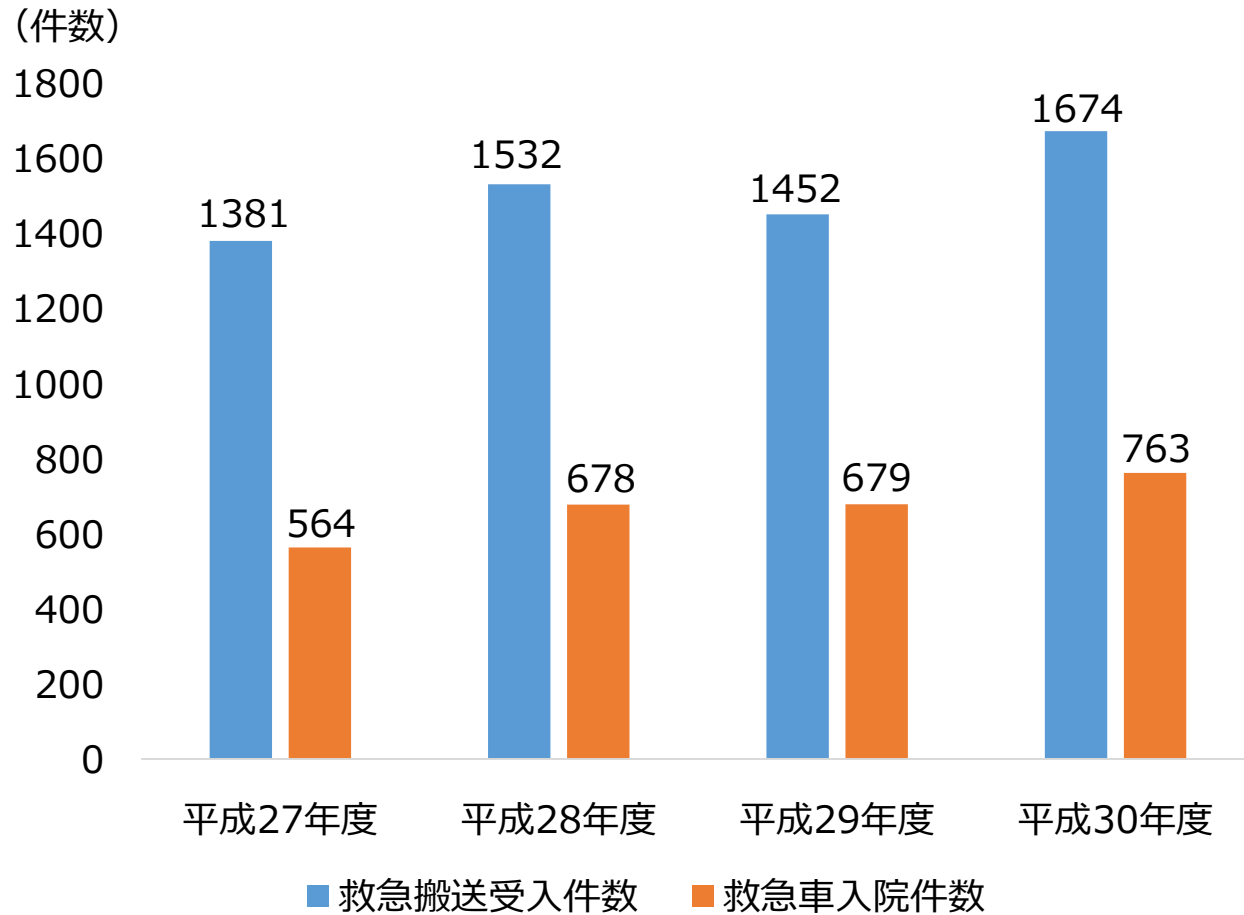
- ・地域医療支援センターの事務員を2名増員
- ・地域連携紹介窓口を午後5時まで ⇒ 午後7時まで延長
- ・各施設へ訪問 約40回 ⇒ 約450回

- ・連携登録医療機関数 215施設 ⇒ 239施設
- ・「在宅連携」をテーマとした症例検討会実施

①地域医療構想を踏まえた役割の明確化

病床利用率等について（救急搬送件数・手術件数）

＜救急搬送受入れ件数＞



■ 受入れ件数，入院件数ともに増加傾向

＜手術等件数＞

(単位：件)

診療科	H30年度	H29年度	増減
外科	241	246	▲5
整形外科	447	449	▲2
眼科	253	226	27
泌尿器科（外来手術）	5	2	3
(手術室での実施)全体	946	923	23
カテーテル治療/検査	549	565	▲16
内視鏡治療/検査	5,305	4,645	660
全体	1,498	1,488	10

■ 全体では微増

■ 眼科，内視鏡が増加傾向

②経営の効率化と具体的な取組み

医業収支の内訳

項目		H30年度	H29年度	増減	増減率(%)
医業収入		5,725,365	5,659,789	65,576	1.2%
	入院	2,877,439	2,798,184	79,255	2.8%
	外来	2,770,483	2,779,884	▲9,401	▲0.3%
	療養環境収益	42,231	44,462	▲2,231	▲5.0%
	その他	35,212	37,259	▲2,047	▲5.5%
医業支出		5,758,699	5,652,493	106,206	1.9%
	給与費	2,504,599	2,388,205	116,394	4.9%
	材料費	2,209,191	2,249,099	▲39,908	▲1.8%
	経費	183,750	174,390	9,360	5.4%
	設備関係費	429,239	425,835	3,404	0.8%
	委託費	415,634	399,519	16,115	4.0%
	研究研修費	16,286	15,445	841	5.4%

(単位：千円)

医業収支比率(%)	
H30年度	99.4
H29年度	100.1

■ 医師の増員等で入院収益は増加したが、医業収支全体では赤字

(医業収入) 5,725,365千円 - (医業支出) 5,758,699千円 = ▲33,334千円

②経営の効率化と具体的な取組み

小児科の取組み

<平成30年度の小児科の取組み>

- ・小児病床数… 2床
- ・常勤医師数… 3人（2人増員）
- ・夜間待機日… 1日/週（火曜日）
- ・小児科入院患者数… 1人

（病院全体での小児患者（15歳以下）の入院受入れは26名）

- ・関連大学医局に寄附講座を設置…免疫不全症・感染症・血液・悪性腫瘍
の専門分野の非常勤医師 1人を招へい



<今後の課題>

- ・勤務時間に制約のある医師が配置されていることから、夜間の勤務体制が十分でなく、継続的に入院患者を受け入れる体制を構築するまでにはいたらず。今後は、当直業務が可能な医師の招へいが課題

②経営の効率化と具体的な取組み

小児科の取組み

(参考) 令和元年度の取組み

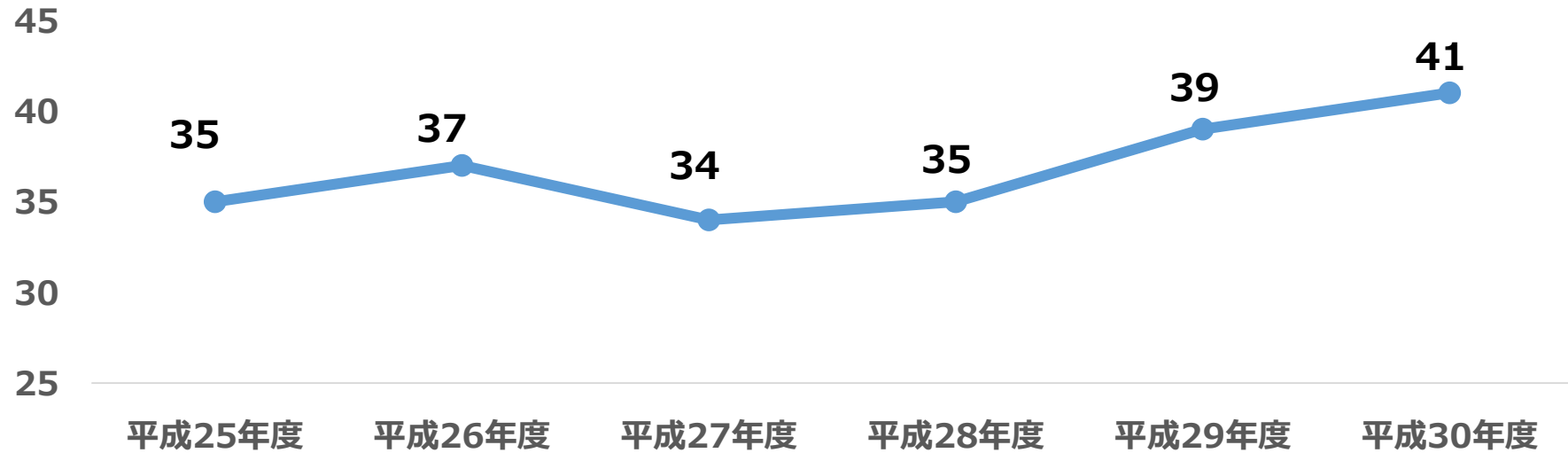
- (1) 診療の拡大
- ① 外来診療の拡大 … 小児科診察室の増設 (3診→4診)
 - ② 入院診療の拡大 … 4月 火曜日～木曜日 (2泊3日) ※検査入院のみ
7月 “ “ ※一般入院を開始
10月 火曜日～金曜日 (3泊4日) ※入院診療日の拡大
- (2) 専門外来
- 小児神経外来 ・ 小児内分泌外来 ・ 血液・免疫外来 ・ 循環器外来
- (3) 夜間待機日
- 週3日 … 火曜日・水曜日・木曜日 (第2・4)
- (4) 柏市との連携
- ① 柏市乳幼児健診 (1歳6カ月児・3歳児)
 - ・医師派遣
 - ・発達障害児に関する専門医によるコンサル
 - ② 学校医・園医の実施
 - ③ 柏市要保護児童対策地域協議会 (要対協) に参加

②経営の効率化と具体的な取組み

人材確保

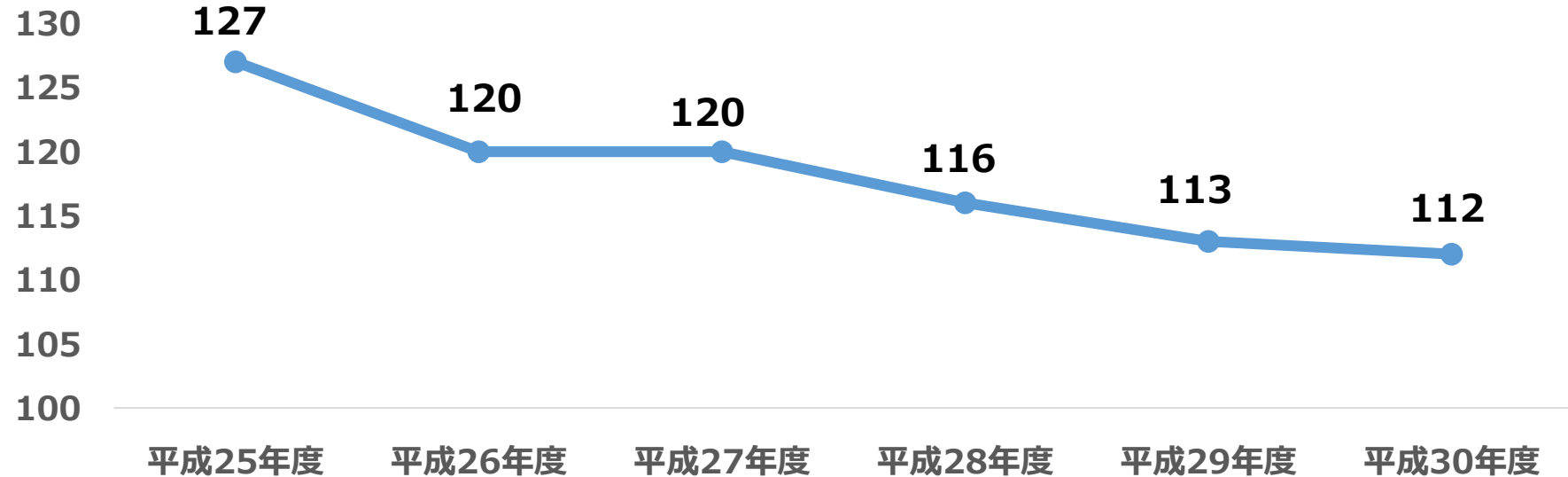
常勤医師数

(単位：人)



常勤看護師数

(単位：人)



ご清聴ありがとうございました。



公益財団法人柏市医療公社

柏市立柏病院

Kashiwa Municipal Hospital